Graduate School of Business

2027 年度 学生募集要項

青山学院大学大学院

経営学研究科
経営学専攻

博士前期課程

一般入試・社会人入試

地の塩、世の光
The Salt of the Earth, The Light of the World
【青山学院スクール・モットー】

青山学院教育方針

青山学院の教育は
キリスト教信仰にもとづく教育をめざし、
神の前に真実に生き
真理を謙虚に追求し
愛と奉仕の精神をもって
すべての人と社会とに対する責任を
進んで果たす人間の形成を目的とする。

青山学院大学の理念

青山学院大学は、「青山学院教育方針」に立脚した、
神と人とに仕え社会に貢献する
「地の塩、世の光」としての教育研究共同体である。
本学は、地球規模の視野にもとづく正しい認識をもって
自ら問題を発見し解決する知恵と力をもつ人材を育成する。
それは、人類への奉仕をめざす自由で幅広い学問研究を通してなされる。
本学のすべての教員、職員、学生は、
相互の人格を尊重し、建学以来の伝統を重んじつつ、
おのおのの立場において、時代の要請に応えうる大学の創出に努める。

経営学研究科の教育研究上の目的

たえまなく変化しながら複雑化する企業組織、更には非営利組織など、さまざまな組織体の行動と成果に分析のメスを入れる経営学は、経済社会のグローバル化、高度情報化が進むなかで、理論と実証の両面でますます重要な役割を果たすことが期待されている。

経営学研究科では、これら経営諸科学の先端的な研究を行うセンターとして、その研究成果を社会に情報発信し還元することを目指す。更に、研究者育成と社会人教育を含めた幅広い知的探求の場を提供し、地域社会との相互交流、そしてグローバルな相互交流を行うなかで、教育と研究の一層の充実を図り、さまざまな経営イノベーションを実現することを目標とする。

個人情報の取扱いについて

出願に際してお知らせいただいた住所、氏名、電話番号、生年月日等の個人情報は、①出願受付、②入学試験業務、③合格発表、④入学手続とこれに付随する業務を行うために利用します。

大学院の目的

本大学院は、本学建学の精神にのっとり、高度かつ専門的な学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥を究め、又は高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した能力を培い、文化の進展に寄与することを目的とする。

アドミッションポリシー（入学者受入れの方針）

≪経営学研究科　博士前期課程≫

① 知識・技能
・経営学の基本知識に精通している。また、社会人にあっては経営学に関する高度研究能力をもとに実務において活躍する基礎的能力を有している。

② 思考力・判断力・表現力
・課題に対して論理的に思考し、自身の考えを的確に口頭で、かつ文章によって表現できる。

③ 意欲・関心・態度
・経営学研究科で修得したものを、すべての人と社会に役立てる意欲がある。

- 経営学研究科の教育研究上の目的、カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）およびディプロマポリシー（修了認定・学位授与の方針）は、以下の本学ウェブサイトにてご確認ください。

http://www.aoyama.ac.jp/faculty/graduate_business/

合格判定の方法及び基準
アドミッションポリシーで定める知識・技能、思考力・判断力・表現力、意欲・関心・態度を多面的・総合的に評価し、合否を判定します。

修了者に授与される学位
経営学研究科　　修士（経営学）

博士前期課程 一般入試・社会人入試

■一般入試・社会人入試とも、年 2 回（秋・春）実施します。研究科は、教員ごとの募集となるため、秋入試で合格者が一定数に達した教員は、春に募集を停止する可能性があります。（教員一覧は2026年11月に差替えます）

■在留資格のない方は、春実施の入試の場合、在留資格取得手続きが入学までに間に合わない可能性があるため、一般入試（秋実施）・社会人入試（秋実施）での出願を推奨します。

募集人員

博士前期課程　経営学専攻　　15 名（一般入試，社会人入試及び学内選抜試験を含む）

出願資格

1. 一般入試　（1）および（2）に該当する者

（1）以下のいずれかに該当する者

1. 大学を卒業した者および 2027 年 3 月卒業見込みの者
2. 独立行政法人大学改革支援･学位授与機構から学士の学位を授与された者および 2027 年 3 月までに授与される見込みの者
3. 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者および 2027 年 3 月修了見込み者
4. 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けたものによる評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が 3 年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者および 2027 年 3 月修了見込みの者
5. 外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者および 2027 年 3 月修了見込みの者
6. 日本において、外国の大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって､文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者および 2027 年 3 月修了見込みの者
7. 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者および 2027 年 3 月修了見込みの者
8. 文部科学大臣の指定した者
9. 上記 1～8 に該当せず、大学を卒業した者と同等以上の学力があると判定する、本大学院の「個別の入学資格審査」に合格した者で、入学時に 22 歳に達した者。

注意 1：上記 9 により出願を希望する者は、学務部教務課経営学研究科担当に問い合わせのうえ、各研究科で個別の入学資格審査を受ける必要があります。事前に必要な書類を、下記の指定期日までに提出すること。

一般入試（秋実施）　　2026 年 7 月 20 日（月）までに提出

一般入試（春実施）　　2026 年 12 月 7 日（月）までに提出

注意 2：本学学生は、他大学大学院および本学の他研究科または他専攻、並びに他大学および本学の学部と併せて在学することはできない（二重学籍の禁止）。

（2）以下いずれかの英語試験において明示したスコア以上の点数を獲得している者。

TOEIC　　730点

TOEFL iBT　79点

IELTS アカデミック・モジュール　6.0

※いずれも2年以内に取得のスコアに限る。

※IELTSジェネラル・トレーニング・モジュール、TOEIC IPテストは認めない。

注意 3：外国人留学生については、日本国際教育支援協会および国際交流基金が実施している「日本語能力試験」N1（2024年12月・2025年7月・2025年12月・2026年7月実施に限る）合格者に限る。ただし、日本の大学を卒業している者については、これを免除する。

2. 社会人入試

経営学は企業の理論的・実証的な研究をおこなうとともに、つねに実践的な企業活動と関連をもって発展しています。青山学院大学経営学研究科においても、企業活動の理論的・実証的な研究に携わる、優れた研究者の養成を目指すとともに、経営学研究と現実の企業活動との接点をつねに求めてきました。このような趣旨に基づき、社会人入試制度により、経営学研究と現実の企業活動とのかかわりを探求しようとする社会人を、より広く求めています。

次のI～IIIいずれかに該当する者。外国人留学生については、日本国際教育支援協会および国際交流基金が実施している「日本語能力試験」N1（2024年12月・2025年7月・2025年12月・2026年7月実施に限る）合格者に限る。ただし、日本の大学を卒業している者については、これを免除する。

I. 下記1～8のいずれかの要件を満たしてから2027年4月入学時点で3年以上を経過している者。
II. 下記1～8のいずれかの要件を満たしてから2027年4月入学時点で3年未満であるが、出願時に企業等に勤務している者。
III. 下記の9に該当する者。

1. 大学を卒業した者および2027年3月卒業見込みの者
2. 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者および2027年3月までに授与される見込みの者
3. 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者および2027年3月修了見込み者
4. 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けたものによる評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者および2027年3月修了見込みの者
5. 外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者および2027年3月修了見込みの者
6. 日本において、外国の大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者および2027年3月修了見込みの者
7. 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者および2027年3月修了見込みの者
8. 文部科学大臣の指定した者
9. 上記1～8に該当せず、大学を卒業した者と同等以上の学力があると判定する、本大学院の「個別の入学資格審査」に合格した者で、入学時に22歳に達した者。

注意1：上記9により出願を希望する者は、学務部教務課経営学研究科担当に問い合わせのうえ、「個別の入学資格審査」に必要な書類を、下記の指定期日までに提出すること。

一般入試（秋実施）　2026年7月20日（月）までに提出
一般入試（春実施）　2026年12月7日（月）までに提出

注意2：本学学生は、他大学大学院および本学の他研究科または他専攻、並びに他大学および本学の学部と併せて在学することはできない（二重学籍の禁止）。

出願手続（一般入試・社会人入試共通）

1. 出願は、すべて郵送受付とします。
出願の際は、出願書類および入学検定料の「収納証明書」を封筒に入れ、本学所定の出願用封筒表紙を封筒に貼付のうえ、郵便局窓口で簡易書留・速達郵便扱いの手続きをして郵送してください。
なお、海外からの郵送の場合は、出願期間内に到着するようお願いします。
2. 出願受付後、受験票を本人宛にお送りします。
受付事務・郵便事情等により受験票の返送が多少遅れることがあります。なお、入学試験日の3日前までに受験票が未着の場合は学務部教務課経営学研究科担当に問い合わせてください。
3. 一旦受け付けた出願書類、入学検定料は返還しません。
4. 書類・入学検定料不備のものおよび受付最終日を過ぎた消印のものは受理せず返送します。
5. 国による大学院修士段階における「授業料後払い制度」の利用を希望する方は、出願期間中に授業料納付猶予手続きを行ってください。詳細は10ページ掲載の申請要項のURLもしくはQRコードをご参照ください。※外国人留学生（在留資格が「留学」の方）は申請対象外です。

出願書類

※本学所定用紙はすべて募集要項の後にあります。
※志願者自身が作成した文章を提出してください。人工知能等が自動生成した文章や他者が作成した文章の提出を禁じます。

1. 入学志願票（本学所定用紙）
博士前期課程　一般入試出願者用
博士前期課程　社会人入試出願者用
該当する入試種別の様式を使用してください。
2. 研究計画書（本学所定用紙）
※A4判、横書き、2,000字程度でMS Wordなどの文書作成ソフトウェアで作成し、表紙（本学所定用紙）を付けてください。
3. 受験票・写真票・宛名ラベル（本学所定用紙）
※宛名ラベル用紙には送付先住所・氏名・志願研究科・専攻を明記してください。
※必要事項を記入のうえ、宛名ラベルは切り取り線で切り離して提出してください。
4. 写真2枚（タテ4㎝×ヨコ3㎝、カラー写真、上半身正面脱帽、最近3ヶ月以内撮影のもの、入学志願票および写真票に貼付）
※顔写真は、受験時に本人との照合を行いますので、画像に加工や修正をしたものは使用しないでください。本人と確認できない場合は失格となる場合がありますので注意してください。
※入学手続の際に別途提出する学生証用の写真も、出願時と同じ写真を提出していただきます。
5. 入学検定料の「収納証明書」
（コンビニエンスストア端末またはクレジットカードでの支払い）
支払いの際に発行される「取扱明細書」、または「取扱明細書兼領収書」の「収納証明書」を切り取り、貼付用紙（本学所定用紙）に貼り付け提出してください。
6. **（一般入試志願者のみ）**TOEFL、TOEIC、IELTSのスコア証明書
※※TOEFL iBTは、2026年1月21日より、紙のスコアレポートが廃止されるとともに、スコア体系が変更されました。
2026年1月21日以降に受験した試験のスコアを提出する場合は、ダウンロードしたスコアレポートを印刷のうえ提出するとともに、DIコード「G314」を指定し、スコアを直送してください。
2026年1月20日以前に受験した試験のスコアを提出する場合は、スコアレポート原本を提出してください。
※TOEIC、IELTSのスコア証明書は原本を提出してください。コピーは認めません。
なお、TOEIC、IELTSのスコア証明書の返却を希望する方は、レターパックライト（送付先記入）を同封してください。
7. 出身大学または大学院の　①卒業(見込)または修了(見込)証明書　②成績証明書
※証明書原本を提出してください。（コピー不可）
※証明書が日本語または英語でない場合は、公的機関による証明を受けた日本語または英語の訳文を付してください。
※出身大学に編入学した者や単位認定を受けた者は、以前の大学、短期大学の卒業証明書および成績証明書も提出してください。
※大学院を修了した者(見込みを含む)は、大学院の修了(見込)証明書および成績証明書も併せて提出してください。（本学大学院出身者の場合は不要）
※改姓等により、証明書記載氏名が現在の氏名と異なる場合は、志願者にかかわる証明書として確認できませんので、氏名変更(改姓等)の事実が確認できる証明書(戸籍抄本等)を提出してください。
※証明書が日本語または英語でない場合は、公的機関による証明を受けた日本語または英語の訳文を付してください。
※中国高等教育学生信息網（CHSI）発行の証明書について
出身大学の卒業(見込)証明書及び成績証明、学位取得証明書の提出の代わりにCHSI発行の認証書の提出も認めます。
出願書類には印刷した認証書を同封し、かつ電子データの認証書が出願期間内にCHSIから経営学研究科メールアドレスへ期間内に電子メールで直送されるよう、手配してください。印刷した認証書のみの提出や、志願者等による電子メールの転送は出願書類として認められません。
※中国の大学を卒業した者は、卒業証明書の他に「学位取得証明書」も併せて提出してください。
（注意）改姓等により、証明書記載氏名が現在の氏名と異なる場合は、志願者にかかわる証明書として確認できませんので、氏名変更(改姓等)の事実が確認できる公的証明書(戸籍抄本等)を提出してください。
8. **（大学評価･学位授与機構に学位を申請して学位を取得した者または学位取得見込みの者のみ）**
出身校の修了(見込)証明書、成績証明書、学位取得証明書または学位申請にかかわる証明書
9. **（外国籍者のみ）**パスポートのコピー（氏名、国籍、在留資格の確認できるページ)および在留カードのコピー
※日本に在住していない方は、パスポートのコピーのみ提出してください。
10. **（外国籍者のみ）**日本国際教育支援協会および国際交流基金が実施している「日本語能力試験」N1（2024年12月・2025年7月・2025年12月・2026年7月実施に限る）の合格を証明できる書類
※日本の大学を卒業している者については、これを免除する。
※N1合格証明書の返却を希望する方は、レターパックライト（送付先記入）を同封してください。

11. **（社会人入試志願者のうち、出願資格IIに該当する者のみ）**在職を証明するもの
勤務先の明記された健康保険組合員証または社員証の写し。（コピーを提出）

入学検定料　35,000円

1. 入学検定料は以下の方法でお支払ください。
（コンビニエンスストア端末またはクレジットカードでの支払い）
「コンビニ端末での入学検定料支払方法」（7ページ）
「クレジットカードでの入学検定料支払方法」（8ページ）を参照のうえ，お支払ください。
2. 入学検定料の「収納証明書」を貼付用紙に貼り付け出願書類に同封してください。
（コンビニエンスストア端末またはクレジットカードでの支払い）
支払いの際に発行される「取扱明細書」または「取扱明細書兼領収書」の「収納証明書」を切り取り、貼付用紙（本学所定用紙）に貼り付け提出してください。
3. 出願受付後、入学検定料は返還しません。支払ったが出願しなかった場合は、学務部教務課 経営学研究科担当までお問合せください。

コンビニ端末での入学検定料支払方法

下記のコンビニ端末にてお支払いください

1 お申込み

セブン-イレブン マルチコピー機

https://www.sej.co.jp/services/multicopy

最寄りの「セブン-イレブン」にある「マルチコピー機」へ。



TOP画面の**「学び・教育」**よりお申込みください。



学び・教育
↓
入学検定料等支払
▼

LAWSON Loppi / MINISTOP Loppi

https://www.lawson.co.jp　https://www.ministop.co.jp

最寄りの「ローソン」「ミニストップ」にある「Loppi」へ。



TOP画面の**「各種サービスメニュー」**よりお申込みください。



「各種申込(学び)」を含むボタン
↓
学び・教育・各種検定試験
↓
大学・短大、専門、
小・中・高校等お支払い
▼

▼

お申込みの大学 をタッチし、申込情報を入力して**「払込票／申込券」**を発券ください。

＊画面ボタンのデザインなどは予告なく変更となる場合があります。

2 お支払い

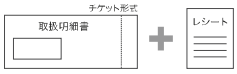
①コンビニの「レジ」でお支払いください。

端末より「払込票」(マルチコピー機)または「申込券」(Loppi)が出力されますので、
30分以内にレジにてお支払いください。



②お支払い後、「チケット」と「レシート」の2種類をお受け取りください。

「取扱明細書」(マルチコピー機)または「払込受領証」(Loppi)。

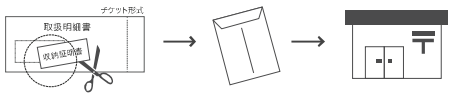


＊お支払い済みの入学検定料はコンビニでは返金できません。
＊お支払期限内に入学検定料のお支払いがない場合は、入力された情報はキャンセルとなります。
＊すべての支払方法に対して入学検定料の他に、払込手数料が別途かかります。

払込手数料(税込)		
	入学検定料が5万円未満	605円
	入学検定料が5万円以上	825円

3 出願

「取扱明細書」または「払込受領証」の
「収納証明書」部分を切り取り、
入試要項などの指示に従って郵送してください。



貼付する場合、「感熱・感圧紙などを変色させる場合があります」と記載のある糊に使用しないでください。「収納証明書」が黒く変色する恐れがあります。

【操作などのお問合わせ先】学び・教育サポートセンター　https://e-apply.jp/　＊コンビニ店頭ではお応えできません。

クレジットカードでの入学検定料支払方法

24時間・365日いつでも支払いOK!

クレジットカードを利用して入学検定料のお支払いが可能です。

インターネット申込 ～ クレジット決済

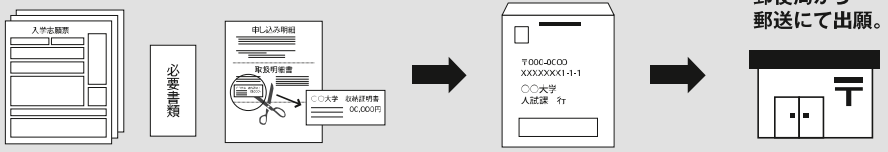
PCで下記にアクセス

https://e-apply.jp/e/gs-aoyama

1. トップページ	「申し込む」ボタンをクリック
2. 研究科選択	研究科を選択してください。
3. 入試選択	受験される入試を選択して「次へ」ボタンをクリック
4. 留意事項	留意事項の内容を確認・同意して「次へ」ボタンをクリック
5. 基本情報入力	申込者本人の基本情報を入力し「個人情報取扱方法」に同意し「次へ」ボタンをクリック
6. 申込内容確認	申込された情報を確認し、問題なければ「申込みする」ボタンをクリック
7. 受付番号確認	受付番号（12桁）を控え、「引き続き支払う」ボタンをクリック（登録されたメールアドレスにも通知されます。）
8. クレジットカード情報入力	支払に利用するクレジットカード番号（16桁）等必要な情報を入力し、「次へ」をクリック *お支払いされるカードの名義人は申込者本人以外でも構いません。
9. 決済完了	完了後に通知されるメールアドレスに記載のURLよりログインいただき、取扱明細書をプリントアウトしてください。 *メール通知が届かない場合は、TOPページの「申込内容を確認する」ボタンをクリックし、「受付番号（12桁）」「（登録時の）メールアドレス」「生年月日」でログインしてください。

出願

印刷した「収納証明書」と必要書類を、出願用封筒に入れる。



【注意事項・よくあるお問合せ】

- 出願期間を入試要項でご確認のうえ、出願に間に合うよう十分に余裕をもってお支払いください。
- 支払最終日は23:59までにカード決済を完了させてください。
- 入学検定料の他に、払込手数料（税込）が別途かかります。
  払込手数料（税込）：30,000円未満…手数料 664円、30,000円以上50,000円未満…手数料 1,041円、50,000円…手数料 1,163円
- クレジットカードの名義人は、申込者本人以外でも構いません。但し、基本情報入力画面では、必ず申込者本人の情報を入力してください。
- メール通知が届かない場合は、TOPページの「申込内容を確認する」ボタンをクリックし、「受付番号（12桁）」「（登録時の）メールアドレス」「生年月日」でログインしてください。
- 一度お支払された入学検定料は、出願後は一切返金できませんのでご注意ください。
- カード審査が通らなかった場合は、クレジットカード会社へ直接お問い合わせください。

「クレジットカードでの入学検定料納入」について不明点がある場合は、トップページの「はじめに」から「お問い合せ先」をご覧頂き、「学び・教育サポートセンター」までお問い合わせください。

願書受付期間（一般入試・社会人入試共通）

入試時期	願書受付期間（受付最終日消印有効※）
秋入試	2026年 9月 3日（木）～ 9月9日（水）
春入試	2027年 1月 6日（水）～ 1月 12日（火）

※海外から郵送の場合は、願書受付期間内に到着するようお願いします。

入学試験日・合格発表日（一般入試・社会人入試共通）

入試時期	試験日	合格発表※
秋入試	第1次試験(筆記) 2026年 9月19日（土）	第1次試験 2026年10月 2日（金）13:00 第2次試験 2026年10月16日（金）13:00
	第2次試験(口述) 2026年10月10日（土）	
春入試	第1次試験(筆記) 2027年1月21日（木）	第1次試験 2027年1月 29日（金）13:00 第2次試験 2027年2月12日（金）13:00
	第2次試験(口述) 2027年2月8日（月）	

※合否結果は、大学ホームページ「大学院入学試験等に関するお知らせ」（下記URL）にて発表します。
また、合格者には速達郵便にて入学手続書類を発送します。
https://www.aoyama.ac.jp/admission/graduate/information/index.html
※不合格者への書類送付は行いませんので、ご了承ください。

試験時間割

1.一般入試

	第１次試験	第２次試験
入試時期	科目・時間	科目・時間
秋入試	論　文　10:00～11:00	口述試験 時間は第1次試験合格者に通知
	研究計画書（出願書類の一部（2,000字程度））	
春入試	論　文　10:00～11:00	
	研究計画書（出願書類の一部（2,000字程度））	

2.社会人入試

	第１次試験	第２次試験
入試時期	科目・時間	科目・時間
秋入試	小論文　10:00～11:00	口述試験 時間は第1次試験合格者に通知
	研究計画書（出願書類の一部（2,000字程度））	
春入試	小論文　10:00～11:00	
	研究計画書（出願書類の一部（2,000字程度））	

試験についての注意事項（一般入試・社会人入試共通）

障がいや疾病、怪我などにより受験及び修学上の合理的配慮が必要な場合、「障がいのある学生の受入れ方針」に基づき、受験時に合理的配慮を提供します。合理的配慮を希望する方は、出願期間前に学務部教務課経営学研究科担当に問い合わせてください。なお、場合によっては健康診断書等の提出を求めることがあります。

1. 試験は青山キャンパスで実施します。
2. 受験者は、試験開始10分前までに試験場に入室してください。筆記試験については、受験番号ラベルにより受験者ごとの着席位置が指定されていますので、自分の受験番号ラベルが貼付された位置に着席してください。
3. 試験開始から20分以上遅刻した者は、受験することができません。
4. 試験当日は、受験票を必ずお持ちください。万一紛失した場合は、再発行しますので、学務部教務課経営学研究科担当へご連絡ください。
5. 試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に罹患し治癒していない者は、他の受験生への感染のおそれがありますので、原則として受験をご遠慮願います。ただし、病状により学校医その他の医師において伝染のおそれがないと認めたときは、この限りではありません。なお、上記により受験をご遠慮いただいた場合でも、追試験などの措置、入学検定料の返還は行いません。

入学手続

入学手続はすべて郵送となります。（締切日消印有効）

入試種別	第１次入学手続締切日	第２次入学手続締切日
秋入試	2026年11月13日(金)	2027年 3月 5日(金)
春入試		

1. 合格者には、入学手続書類を郵送します。入学手続要項にしたがい、入学手続締切日までに手続を完了してください。
   ※入学手続の際に別途提出する学生証用の写真も、出願時と同じ写真を提出してください。
2. 入学手続は、所定の入学手続納入金を納め、必要書類を提出することにより完了します。入学手続が完了しない場合、合格は無効となりますのでご注意ください。

学費等

2027 年度入学者学費等一覧（大学ウエブサイト）
以下大学ウェブサイト内、「大学院、専門職大学院入学者学費」を参照してください。
大学ウェブサイト：https://www.aoyama.ac.jp/life/expenses/battel_postgraduate/

	金額	備　　考
入学手続納入金合計	610,500	(後期分学費等含まず)
初年度納入金合計	931,000	後期分学費等 320,500 円を含む

（消費税は課税されません）

2回手続の場合

第1次手続納入金	290,000	入学申込金　※第2次入学手続時に入学金に振替
第2次手続納入金 (学費等分割方式)	320,500	通常の納入方式 （後期分学費等は、入学後に納入）
第2次手続納入金 (学費等一括方式)	641,000	後期分学費等を併せて納入希望の場合

1回手続の場合

入学手続納入金 (学費等分割方式)	610,500	通常の納入方式 （後期分学費等は、入学後に納入）
入学手続納入金 (学費等一括方式)	931,000	後期分学費等を併せて納入希望の場合

注）校友会費は、退学、除籍の場合には、校友会本部事務局に申請し返還をうけることができます。

備　考

1. 入学手続時に後期分学費等を併せて納入することもできます。（通常は入学後に納入）
2. 今後、経済情勢に応じ、学費等の改定が行われた場合は、在学生にも改定後の学費等を適用することがあります。
3. 本学の学部及び大学院博士前期(修士)課程出身者については次のとおりとします。
   ①入学金
   博士前期課程入学者
   本学の学部卒業（見込みを含む）者・本学大学院博士前期(修士・専門職学位)課程修了者(見込みを含む)は全額免除。
   ②校友会費
   本学出身者は納入不要
4. 授業料後払い制度について
   国による大学院修士段階における「授業料後払い制度」の利用を希望する方は、以下 URL または QR コードより、申請要項を確認の上、**出願期間中に**必要な手続きを行ってください。
   ※外国人留学生（在留資格が「留学」の方）は申請対象外です。
   【申請要項 URL】
   https://www.aoyama.ac.jp/wp-content/uploads/2026/03/af_syougakukin_atobalai2027.pdf

   【申請要項 QR コード】

授業実施キャンパス
授業は、青山キャンパス（東京都渋谷区渋谷4-4-25）で実施します。

授業時間（授業科目配置時間帯）について

時限	第 1 時限	礼拝	第 2 時限	昼休み	第 3 時限	第 4 時限	第 5 時限	第 6 時限
時間	9：00 ～ 10：30	10：30 ～ 11：00	11：00 ～ 12：30	12：30 ～ 13：20	13：20 ～ 14：50	15：05 ～ 16：35	16：50 ～ 18：20	18：30 ～ 20：00

入学辞退願提出について
本大学院の入学手続を完了した後、やむを得ぬ事情により入学を辞退することになった場合、「入学辞退願」が以下の期日までに受理されたものは、入学金を除く納入金を返還します。
(1)「入学辞退願」用紙の請求先・提出先
青山学院大学　スチューデントセンター 学務部教務課（17号館2階）経営学研究科
〒150-8366　東京都渋谷区渋谷4－4－25
電話　03-3409-9524 (経営学部・経営学研究科 直通)
(2) 入学辞退願の提出について
提出締切日時：2027 年 3 月 31 日（水）17 時（窓口閉室時間）
郵送の場合は簡易書留郵便で上記日時消印有効
提 出 書 類：①「入学辞退願」(本学所定用紙) ②「振込金受取書」

一般的注意事項

本学学生は、他大学大学院および本学の他研究科または他専攻、並びに他大学および本学の学部と併せて在学することはできません（二重学籍の禁止）。

1. 一旦受け付けた書類、入学検定料などは一切返還しません。
2. 本大学院では既に他の大学院で修得した単位を本学の単位として認定する制度がありますので、希望者は申し出てください。(ただし、入学年度の4月初頭に限ります)
3. 卒業（修了）見込みで出願していた者で、2027年3月末日までに卒業（修了）できなかった場合は、入学資格を満たせなかったことになりますので、入学手続を完了していても本大学院に入学することはできません。
4. 出願書類への虚偽の記載や証明書等の偽造が確認された場合は、入学試験の結果を無効とし、入学後であっても遡って入学の資格を取り消すことがあります。その場合、提出された書類およびそれまでに納入された費用については返還しません。詳細は次ページ「不正行為について」をご確認ください。
5. 受験、入学手続などに関する問い合わせは、学務部教務課経営学部・経営学研究科 [直通電話 03（3409）9524]に連絡してください。ただし、合否に関する問い合わせには一切応じません。
6. 教育職員免許状や各種資格（司書教諭、司書、社会教育主事、学芸員）の取得に関する不明点については、出願前に教職支援センター [直通電話 03（3409）9634]に問い合わせてください。
7. 年末年始期間（2026 年 12 月 23 日～2027 年 1 月 5 日）は、出願に関する各種問い合わせについては対応できませんのでご注意ください。
8. 入学試験に関するお知らせは、以下本学ホームページにてお知らせいたします。
http://www.aoyama.ac.jp/admission/graduate/

不正行為について

〇出願書類に関する不正行為について

出願書類への虚偽の記載や証明書等の偽造が確認された場合は、当該年度の入学試験の結果を無効とします。また、入学後であってもこれらの不正が確認された場合には、遡って入学を取り消すことがあります。この場合、提出された書類およびそれまでに納入された費用については返還しません。また、警察へ被害届を提出するなどの対応をとる場合があります。

〇試験時の不正行為について

試験時間中に下記に例示する行為を行った場合、または試験終了後に当該行為が確認された場合（入学後に判明した場合を含む）には、不正行為とみなされることがあります。また、試験時間中であっても、メガネ、マスク等の身に着けている物の確認を求める場合があります。

不正行為が確認された場合には、当該年度の入学試験の結果を無効とし、入学を取り消すことがあります（入学後においても遡って適用する場合を含む)。この場合、提出された書類およびそれまでに納入された費用は一切返還いたしません。不正行為に対しては厳正に対処するとともに、警察へ被害届を提出するなどの対応をとる場合があります。

（筆記試験）

- カンニング（カンニングペーパー、参考書、他の受験者の答案を見ること、他の人から答えを教わること等）をすること。
- 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等)、イヤホン、携帯音楽プレーヤー等を身に付けていること。
- 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等)、時計、携帯音楽プレーヤー等の音（着信、アラーム、振動音等）を鳴らすこと。
- 試験時間中に、問題冊子や解答用紙を試験室から持ち出すこと。
- 試験時間中に、答えを教える等の他の受験者を利するような行為をすること。
- 試験時間中に、使用が認められている用具以外を机に置くこと。
- 試験開始の合図、もしくは試験監督者の試験開始の指示の前に問題冊子を開き、解答を始めること。
- 試験終了の合図、もしくは試験監督者の試験終了の指示の後に、筆記用具や消しゴムを持ち続けていたり、解答を続けていたりすること。
- 試験終了後、解答用紙を提出しないこと。

（面接試験・口述試験）

- 試験中に他の者と連絡をとりあうこと。
- 試験の録画・録音をすること、およびそれらを SNS 等のインターネット上へ掲載すること。
- 試験終了後に、これから当該試験を受験する他の受験者に試験の内容を伝えること。 また、試験の内容を SNS 等のインターネット上へ掲載すること。

（共通）

- 試験室において、試験監督者、係員等の指示に従わないこと。
- 試験室において、他の受験者の迷惑となる行為および試験の運営の妨害となるような行為をすること。
- 志願者以外の者が、志願者本人になりすまして試験を受けること。
- その他、試験の公平性を損なう行為をすること。

博士前期課程

教 員 組 織 2027年度予定

2026年11月11日更新
2027年度に学生募集を行わない教員情報を、※印にて更新しました。

経営学専攻

職 名	氏 名		研究指導教員の専門分野	担 当 科 目
（経営学部門）				
教 授	稲村 雄大		国際ビジネス、経営組織論	比較経営論研究、同演習
教 授	宇田 理		経営史	経営史研究、同演習
教 授	亀坂 安紀子		金融、ファイナンス、統計分析	財務管理論研究、同演習
教 授	塩澤 友規		医療経営管理、産業労働衛生、医療情報学	医療システム管理研究、同演習
教 授	高松 朋史		事業戦略、経営管理	生産・情報戦略研究、同演習
教 授	竹田 賢		物流情報管理論、生産戦略論	物流情報管理研究、同演習
教 授	中内 基博		経営戦略論、経営組織論	経営戦略研究、同演習
教 授	中邨 良樹		経営情報論、企業情報戦略	企業情報戦略研究、同演習
教 授	松尾 睦		組織行動	経営管理論研究、同演習
教 授	山下 勝		経営組織論	経営組織研究、同演習
准 教 授	藤澤 理恵		人的資源管理論、組織行動論	人的資源管理論研究、同演習
（会計学部門）				
教 授	上枝 正幸	※	財務会計、実験経済学	財務会計研究
教 授	楠 由記子		管理会計	予算管理研究、コストマネジメント研究
教 授	佐藤 靖	※	財務分析	財務分析研究
教 授	菅本 栄造		管理会計、原価計算	管理会計研究、戦略管理会計研究
教 授	矢澤 憲一		財務会計、監査	会計データ分析研究
教 授	矢内 一利	※	企業評価論、財務諸表分析	会計測定研究
教 授	山下 裕企		原価計算、コストマネジメント	原価計算研究、コストマネジメント研究
教 授	尹 志煌		財務会計（制度会計）	制度会計研究
（ＩＭＣ統合マーケティング部門）				
教 授	東 伸一		マクロ・マーケティング、マーケティング（歴史・学説史も含む）	マクロ・マーケティング研究、同演習
教 授	小野 譲司		マーケティング、サービス・マーケティング	サービス・マーケティング研究、同演習
教 授	鹿島 浩之		マネジメントサイエンス、統計学	リスク・マネジメント研究、同演習
教 授	久保田 進彦		マーケティング、ブランド	ブランド研究、同演習
教 授	島田 淳二		ファイナンス、計量経済学	金融市場論研究、同演習
教 授	土橋 治子		消費者行動、マーケティング	消費・購買行動研究、同演習
教 授	芳賀 康浩		マーケティング、ソーシャル・マーケティング	ソーシャル・マーケティング研究、同演習
教 授	服部 圭介	※	公共経済学、産業組織論	ビジネスエコノミクス研究、同演習
教 授	山下 裕子		マーケティング・流通論	マーケティング戦略研究、同演習
教 授	横山 暁		マーケティング・サイエンス、統計学（多変量解析）	マーケティング・サイエンス研究、同演習
（戦略経営・知的財産権プログラム）				
教 授	加藤 恭子	※	経営学（マクロ＆ミクロ組織論）	組織マネジメント
准 教 授	灘山 直人	※	競争戦略論研究	競争戦略論研究
特任教授	中川 有紀子	※	人的資源管理論、キャリアデザイン学	人的資源管理（ＨＲＭ）とリーダーシップ

研究指導教員の専門分野欄の※印は、2027年度学生募集せず。

地の塩、世の光
The Salt of the Earth, The Light of the World
【青山学院スクール・モットー】

青山学院大学大学院
〒150-8366　東京都渋谷区渋谷 4-4-25
電話：03（3409）9524（青山学院大学学務部教務課 経営学研究科担当）

2027年度

青山学院大学大学院経営学研究科入学志願票

入学試験種別 （**博士前期課程**は秋入試・春入試 該当に〇をすること） 一 般 入 試 （ 秋入試 ・ 春入試 ）	※記入不要 受験番号
課程（該当する課程を〇で囲む） ・ 研究科 ・ 専攻 博士前期 ・ 博士後期 課 程 経営学 研究科 経営学 専 攻	有 ・ 無 英語試験スコア TOEFL（)点 IELTS（)点 TOEIC（)点
フリガナ / 性別 氏 名 外国籍の者は氏名表記を英字とすること。 該当する方を〇で囲む 男・女	若手研究者育成奨学金（**博士後期課程のみ**〇で囲む） 給付を希望 する ・ しない
生年月日（西暦） 年 月 日（ 歳）	本籍地 都・道・府・県 （外国籍の場合は国籍を記入）
写真貼付 1. 4×3cm枠なし 2. 上半身正面脱帽 3. 最近3カ月以内撮影のもの 4. カラー写真 5. **加工写真不可** 6. 全面糊付け 7. 裏面に氏名記入	
現住所 〒 －	
電話番号 （ ） 携帯電話番号 （ ）	
メールアドレス	

学歴（高等学校以降のすべての学歴を記入すること）

		高等学校（西暦）	年 月	卒業
大学	学部	学科	年 月	入学
大学	学部	学科	年 月	卒業 ・ 卒業見込

職歴（非常勤・アルバイト・嘱託等は、記入の必要はない）

（西暦）		年 月 ～	年 月	退職 ・ 在職
		年 月 ～	年 月	退職 ・ 在職

本学出身者は必ず下欄を記入してください。

学生番号		演習担当者又は指導教員	

2027年度

青山学院大学大学院経営学研究科入学志願票

◎下記すべての項目について必ず記入すること。（但し、論文を書いていない場合は題目の記入不要。）

卒業論文題目	
修士論文等題目	

学部における主な研究内容

研究科における研究内容（博士後期課程志願者のみ記入）

入学後の研究主題

研究指導を希望する教員名（要項に記載された教員1名を記入）	

修了後の進路希望（具体的に記入すること）

2027年度

青山学院大学大学院入学志願票

経営学研究科　経営学専攻　博士前期課程

※いずれかに○				受験番号	※記入不要
*	社会人入試(秋) 2年制コース・1年制コース (いずれかを○で囲む)	*	社会人入試(春)		

フリガナ	性別	本籍地	写真貼付
氏　名 外国籍の者は氏名表記を英字とすること。			1. 4×3cm枠なし 2. 上半身正面脱帽 3. 最近3カ月以内撮影のもの 4.カラー写真 5.**加工写真不可** 6. 全面糊付け 7. 裏面に氏名記入
生年月日(西暦)　　年　　月　　日(　　歳)		都・道・府・県 (外国籍の場合は国籍を記入)	

現住所　〒　　－

電話番号　　(　　)

FAX　　(　　)　　携帯電話番号　　(　　)

メールアドレス

勤務先名
(部署・役職名も記入)

勤務先住所　〒　　－

電話番号　　(　　)

通学交通機関

線　　駅　～　渋谷駅・表参道駅　所要時間　約　　分

学歴（高等学校以降のすべての学歴を記入すること）

高等学校(西暦)			年　月	卒業
大学	学部	学科	年　月	入学
大学	学部	学科	年　月	卒業・卒業見込

本学出身者は必ず下欄を記入してください。

学生番号		演習担当者 又は指導教員	

2027年度

職　歴（期間は自・至及び現在を明記のこと）	
（西暦）　年　月 ～　年　月	勤務先（職場経歴の概略を含む）
学部における研究主題	
学部における主な研究内容	
入学後の研究主題	
研究指導を希望する教員名（要項に記載された教員1名を記入）	
修了後の進路希望（具体的に記入すること）	

研 究 計 画 書

２０２７年度

経営学研究科　博士前期課程

一般入試・社会人入試・学内進学者選抜試験

※出願する入試種別を選択

※氏　　名	※受験番号

※ 外国籍者は氏名を英字表記にすること。受験番号は記入不要。
※ 本文にこの表紙を左上ホチキス留め。

2027年度　青山学院大学大学院　受験票

研究科	経営学研究科
専　攻	経営学専攻
課　程	博士前期課程
種　別	一般入試（秋・春）　社会人入試(秋・春) 社会人短期修了１年制コース 学内進学（第１回・第２回）

受験番号	＊
ﾌﾘｶﾞﾅ 氏　名	※ 外国籍の者は氏名表記を英字とすること

＊通信欄	＊受付印

注意事項
1　試験開始10分前までに試験場に入室すること
2　試験中は本票を机上に置くこと

2027年度　青山学院大学大学院　写真票

研究科	経営学研究科
専　攻	経営学専攻
課　程	博士前期課程
種　別	一般入試（秋・春）　社会人入試(秋・春) 社会人短期修了１年制コース 学内進学（第１回・第２回）

受験番号	＊
ﾌﾘｶﾞﾅ 氏　名	※　外国籍の者は氏名表記を英字とすること

写真票による本人確認について以下を確認し、□欄にチェックを入れて提出してください。

□ 右の写真は出願時から3か月以内に撮影し、加工や修正を加えていません。

□ 試験当日、写真票と身分証の写真にて、本人確認があることを理解しました。

写真貼付欄

1. ４×3cm枠なし
2. 上半身正面脱帽
3. 最近3カ月以内撮影のもの
4. カラー写真
5. 加工写真不可
6. 全面糊付け
7. 裏面に氏名記入

受験票・写真票記入の際の注意事項
1　該当する箇所に記入または〇で囲むこと
2　＊印欄は記入不要
3　外国籍の者は氏名表記を英字とすること
4　写真票による本人確認について確認事項を読み、□欄にチェックをいれて提出すること

収納証明書 *コンビニエンスストア支払いもしくはクレジットカードでの支払い

貼付用紙

◎枠内を記入してください。　　【入学検定料】

研究科			専攻	専攻	
受験番号 (記入不要)			課程 〇で囲む	博士前期 ・ 博士後期	
フリガナ			連絡先	（　　）	
氏名					

※連絡先には日中連絡がつきやすい電話番号を記入のこと

「取扱明細書」または「取扱明細書兼領収書」の「収納証明書」部分を切り取り、
はがれないように全面のり付けしてください。

収納証明書 **貼付欄**

はがれないように**全面のり付け**
してください。

支払方法（当てはまるものに〇をつけてください）

・コンビニ

・クレジット

□□□-□□□□

（住所）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

（氏名）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 様

研 究 科	専　攻
経営学研究科	経営学専攻

1

□□□-□□□□

（住所）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

（氏名）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 様

研 究 科	専　攻
経営学研究科	経営学専攻

2

□□□-□□□□

（住所）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

（氏名）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 様

研 究 科	専　攻
経営学研究科	経営学専攻

3

宛名ラベル用紙

宛名記入ラベル用紙は「受験票」および「合格者受験番号表」送付用です。
3枚ともに送付先住所・氏名（外国籍者は英字表記のこと）を記入のうえ、
切り離して提出してください。

郵便
切手

150-8366

東京都渋谷区渋谷４－４－２５

青山学院大学　学務部教務課
大学院入試願書受付係　御中

（大学院入学試験・出願書類在中）

出願期間中の消印有効

簡易書留
速　　達

（二つ折厳禁）

フリガナ	
氏　名	
住　所	□□□-□□□□ TEL.　　（　　）
研究科・専攻	経営学研究科　　経営学専攻
課　程	博士前期課程　・　博士後期課程
入試種別	一般入試　・　社会人入試　・　学内進学 その他の種別〔　　〕

※ 課程・入試種別：該当するものを○で囲んでください

（2027 年度入試用　青山学院大学大学院）